

説明・記載例 (調停申立書・売掛代金)

①提出先の裁判所名を記載してください。
②調停事項の価額及び手数料額は相手方に請求する内容によります。

申立人や相手方が法人の場合には、法人の本店所在地、法人名、代表者の資格、氏名を記載してください。

【例】
〇〇市〇〇町〇〇番地
申立人 〇〇株式会社
同代表者代表取締役 〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇番地
相手方 〇〇株式会社
同代表者代表取締役 〇〇〇〇

申立書とともに提出する書類の名称を記載してください。
ここに例示されているような書類があれば該当する□をレ点でチェックし、その他の書類があれば空欄の□をレ点でチェックして書類の名称を記載してください。

調 停 申 立 書

令和 ●●年 ●●月 ●●日

●● 簡易裁判所 御中

事件名 売掛代金 請求調停申立事件
調停事項の価額 金 ●●●● 円
手数料額 金 ●●●● 円

〒 ●●●● - ●●●●
住所 (送達場所) ●●●● 県 ●●●● 市 ●●●● 町 ●●●● 番 ●●●● 号

申 立 人 甲野 太郎 (甲野) 印
電 話 ●●●● - ●●●● - ●●●●●●
F A X ●●●● - ●●●● - ●●●●●●

〒 ●●●● - ●●●●
住 所 ●●●● 県 ●●●● 市 ●●●● 町 ●●●● - ●●●●

相 手 方 乙野 次郎

添付書類
 売買契約書
 登記事項証明書 (商業登記簿謄本)

【留意事項】
申立書は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。
相手方が複数の場合は、相手方の数+1となります。

申立書の作成日を記載してください。

◎調停を起こす方(申立人)の住所、氏名、電話番号、FAX番号を記載してください。
◎印鑑は、認印(スタンプ式不可、法人の場合なるべく代表者印)でも結構です。
押印は朱肉をご使用ください。
◎申立人複数名が1通の申立書で調停を申立てる場合は、この欄をさらに書き加えてください。
◎裁判所からの書類を住所以外に宛てて送って欲しい場合には、「(送達場所)」の記載を削除し、別途、送達場所等の届出を行ってください。

調停を起こす相手方の住所、氏名を記載してください。相手方が複数名いる場合は、この欄をさらに書き加えてください。

説明・記載例
(調停申立書・売掛代金)

「申立ての趣旨」には、あなたが調停手続で、どのような解決を求めるのかその結論を簡潔に書いてください。

申立ての趣旨

1 相手方は、申立人に対し、次の金員を支払う。

金 ●●●● 円

【上記の金額/上記の金額のうち金 ●●●● 円】に対する令和
● 年 ● 月 ● 日から支払済みまで年 ● %の割合による金員

との調停を求める。

説明・記載例 (調停申立書・売掛代金)

あなたや相手方が商売をしている場合には、()内にどのような商売をしているのかを書いてください。

相手方の言い分や、この紛争について他に参考になることを書いてください。

紛争の要点

- 1 申立人【 卸売 業を営む者である。】は、令和 ●年 ●月 ●日、相手方【 業を営む者である。】との間で、次のとおり、継続的売買に係る基本契約を締結した。
 - (1) 目的物 酒類
 - (2) 支払条件
 - 【 締め日 毎月末日 】
 - 【 支払日 翌月20日 】
 - 【 その他 】
- 2 申立人は、令和 ●年 ●月から令和 ●年 ●月までの間、相手方に対し、別紙のとおり、上記1 (1) の商品売り渡した。その代金は合計 ●●●● 円である。
【 相手方は、このうち 円のみ支払った。】

(その他の参考事項は以下のとおり)

相手方は、「代金は既に支払った。」と主張して請求に応じない。

「紛争の要点」には、あなたと相手方との間で、紛争となっている内容を、具体的かつ簡潔に書いてください。
どのような事実経過があったのか、その結果、法律的にどのような解決を求めるのかを書いてください。

説明・記載例
(調停申立書・売掛代金)

あなたが相手方に売り渡した物の内容を書いてください。

(別紙)

年月日	品目	数量	引渡日	代金額	支払額
R●●●●	●●ビール(500ml)	15ケース	R●●●●	●●●	0
R●●●●	●●ビール(350ml)	20ケース	}	●●●	}
 	●●酒(1升)	50本		R●●●●	